

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人みどりの樹

もくじ

法人本部	1
多機能事業所ループ	9
生活介護事業所ループ歩	11
多機能事業所ループ奏	14
放課後等デイサービス事業所あざみ	16
日中一時支援事業所あるば	19
はまきた地域活動支援センター	20
浜松市障害者相談支援事業所ぼるた	21
特定相談支援事業所ぼるた	22
事業報告書の付属明細書	32

● 令和2年度 事業報告（法人本部）

はじめに（1年を振り返って）

新型コロナウイルスの猛威が進行している中で、みどりの樹もまずは利用されている方々、関係される方々、また職員の健康と安心を守ることに日々奮闘しております。目に見えない、これまでに経験したことのない禍(わざわい)との戦いですので、不安と戸惑いが常に隣り合わせにある1年でした。そのような環境下でも大きな問題もなく乗り切れたことには、正直ほっとする気持ちです。今後もまだまだこの苦難は続きそうですが、職員一同力を合わせて乗り切っていきたいと思っておりますので、皆様の引き続きのご協力をお願いします。

令和3年は、法人設立20周年を迎える節目の年でもあります。これまで歩んできた道のりを丁寧に振り返り、ご協力いただいていた方々に感謝の意をコロナ禍なりの方法でお示ししていきたいと考えています。

（理事長 山下勝康）

I 基本理念、行動指針の浸透・遂行について

職員全体で常に意識して業務に当たれるよう、写真を差し込むなどしてポスターのように掲示できるようデザインし、各所事務所に掲示しました。

理念と行動指針の浸透に向けては、人事考課の評価項目の中で職員ごと認識できているか評価し、日頃の意識づけにつなげています。

II 令和2年度基本方針【「議論力」と「実行力」を身につける】総括

内部研修として、階層ごとに分かれて定期的にグループワークを実施しました。安心して話しやすい小グループ設定をすることで、発信・受容・協議することの経験値を積む機会となりました。また、そのグループワークを通して、職員同士お互いをよりよく知り合う機会にもなり、これまで以上に協力・連携体制がとれるようになりました。

III 重点取組について

1 ITの積極的活用も含めた業務の効率化

常勤職員に1台ずつノートPCを貸与しました。同時に所属ごとにフォルダ共有し手続きのデータ化、効率化の実現に向けた土台を整備しました。ZOOMでのリモート会議を積極的に導入し、移動に係る時間の削減、タイムリーな情報共有が実現できました。このことで効率化はもとより、密を避け、移動などでの接触機会を減らすなどコロナ禍での感染予防としても有効に機能させました。

2 リスクマネジメント体制の強化

コンプライアンス委員会が中心になり、ヒヤリハット報告書、事故報告書の書式を一新し取り扱いについて共有を図りました。棲み分けの概念も一新したため、前年度までと比べると事故報告の件数が増えることになりましたが、大きな事故の予防に向けては意義のある取り組みになっていると思います。事故後は今後の再発予防についてのカンファレンスを実施することを必須とし、職員間での共有も実現しました。

3 職員の資質向上

キャリアパスの要件の見直しは取り組むことができませんでした。次年度以降、中長期的な計画の中で、組織再編や評価制度との連動を意識してキャリアパスの要件の見直しを行っていきたいと考えています。

一方で、内部研修には力を入れて取り組みました。階層ごとのグループワークを実施するとともに、常勤職員全員参加での研修も行いました。コロナ対策として、リモートも併用しての新しい形での研修を実施することができました。

IV 事業内容と利用者実績

事業名	定員	目標値 (人/日)	実績 (人/日)	目標 達成率	稼働率 (定員対比)
就労移行支援（ライム）	6	3.0	1.4	46.7%	23.3%
就労継続B型（ライム・なないろカフェ）	20	23.0	20.2	87.8%	101.0%
自立訓練（生活訓練）みかん	10	7.0	4.6	65.7%	46.0%
生活介護（さつき）	18	17.0	16.6	97.6%	92.2%
生活介護（まつぼっくり）	12	12.0	10.9	90.8%	90.8%
生活介護（るるる）	10	9.0	8.5	94.4%	85.0%
就労継続B型（ららら）	10	10.0	7.9	79.0%	79.0%
放課後等デイサービス	10	11.2	10.7	95.5%	107.0%
日中一時支援	7	5.0	4.6	92.0%	65.7%
地域活動支援センター	(20)	14.0	6.7	47.8%	—
特定相談	—	34.0	34.0	100.0%	—
浜松市障害者相談支援事業	※浜北・天竜障がい者相談支援センターへ相談員派遣				

V 職員体制

（ ）内は、指定配置基準常勤換算数

	多機能事業所ループ			生活介護事業所ループ歩		多機能事業所ループ奏	
	就労移行	継続B型	自立訓練	さつき	まつぼっくり	るるる	ららら
管理者	1 (1)			1 (1)			
サービス管理責任者	1 (1)			1 (1)		1 (1)	
就労支援員	1(1)	—	—	—	—		
職業指導員	1.5(1.1)	1.5(1.1)	—	—	—		
生活支援員			1.1(1.0)	6.8(3.6)	2.2(1.8)	3.0(1.2)	1.6(0.6)
訪問支援員	—	—	1(1)	—	—		
目標工賃達成指導員	1(1.0)	—	—	—	—		1 (1)
合計	2.5(2.1)	2.5(2.1)	2.5(2.1)			3.0(1.2)	2.6(2.6)

	放課後デイ		地域活動		委託相談
管理者(兼務)	1 (1)	管理者(兼務)	1 (1)	相談員派遣	1 (1)
児童発達支援管理責任者	1 (1)	活動支援員(機能強化)	1 (1)		
児童指導員	5.2 (2)	活動支援員(基礎事業)	2 (2)		

	あるば		特定相談
管理者(兼務)	1 (1)	管理者(兼務)	1 (1)
支援員	2	相談支援専門員	2 (2)

VI 資金収支・財務状況

1 資金収支予算対比

() 内は、令和2年度当初予算

単位：千円(以下切り捨て)

	収入	支出	収支差額
事業活動による収支	253,018 (258,076)	235,036 (241,394)	17,981 (16,681)
施設整備等による収支	0 (0)	12,371 (11,918)	△12,371 (△11,918)
その他の活動による収支	211 (66)	400 (440)	△189 (△374)
当期資金収支差額	—	—	5,421 (4,389)

() 内は、令和2年度当初予算

2 資産・負債の推移

単位：千円

	平成30年度	令和1年度	令和2年度	1・2年度対比
流動資産	110,732	111,381	119,131	7,750
固定資産	244,577	303,756	290,447	△13,339
資産合計	355,309	415,167	409,578	△5,589
流動負債	25,506	29,700	33,460	3,760
固定負債	122,876	176,943	163,548	△13,395
負債合計	148,383	206,642	197,007	△9,635
純資産	206,926	208,524	212,570	4,046

VII 寄付金の状況

計 6件 872,370円 ※すべて、理事長決裁で頂戴いたしました

VIII 施設整備、大規模修繕、固定資産整備

事業所名	種別	金額(円)	詳細	財源
本部拠点	修繕	1,338,249	あざみデッキ、雨どい修繕	自己資金
ループ歩	固定資産	211,618	まつぼっくり便器、洗面台入れ替え	自己資金
	修繕	242,000	まつぼっくり品質表示ラベルプリンター	自己資金
ループ、ループ奏		なし		

IX 借入金及び借入金償還実績

単位：円

借入先	当期償還額	利息	利息補給	当期末残高	用途
福祉医療機構	6,072,000	727,454	0	80,454,000	本部拠点建物新築工事
静岡銀行	3,816,000	694,612	632,000	29,560,000	
静岡銀行	2,030,000	350,881	0	63,970,000	ループ奏建物新築工事

※利息補給は、NPO法人活木活木森ネットワーク「木造公共建築物の整備資金等の借り入れに係る利子助成事業」

X 生産活動

	実績値(円)	計画値(円)	目標達成率
弁当	17,043,454	16,800,000	101.4%
喫茶(なないろカフェ)	4,386,755	5,200,000	84.4%
下請け、他	4,377,239	5,000,000	87.5%
ループ計	25,807,448	27,000,000	95.6%
さつき下請け	1,171,883	1,550,000	75.5%
クッキー(さつき)	1,049,023	1,300,000	80.7%
パン・クッキー(まつぼっくり)	5,529,832	6,600,000	83.8%
樹脂粘土他	6,980	10,000	69.9%
ループ歩計	7,757,718	9,500,000	81.7%
下請け	893,872	1,450,000	61.6%
天竜高校	3,102,016	4,050,000	76.6%
ループ奏計	3,995,888	5,500,000	72.6%

XI 会議

1 理事会

日時・回	内容
5月28日(木) 第1回理事会 (定時理事会)	議決事項 1、令和1年度事業報告および決算報告・監事監査報告 2、評議員会付議事項 ※書面同意によるみなし決議
11月24日(火) 第2回理事会 (定時理事会)	議決事項 1、令和2年度1次補正予算 2、施設設備整備積立金取り崩しについて 報告事項 1、理事長業務執行報告 2、監事監査報告
3月19日(金) 第3回理事会 (定時理事会)	議決事項 1、移動支援事業の終了について 2、土地の取得について 3、管理者の人事について 4、令和2年度2次補正予算 5、令和3年度事業計画 6、令和3年度当初予算 7、評議員候補者の選定について 報告事項 1、多機能事業所ループ エアコン購入について

2 評議員会

日時・回	内容
6月10日(水) 第1回評議員会	議決事項 1、令和1年度計算書類及び財産目録の承認 ※書面同意によるみなし決議

3 管理者会議

日時・回	内容
4月6日(月) 第1回	1、新型コロナウイルスについて 2、人事について 3、学習支援協力について 4、法定研修受講者選定 5、理事会・評議員会の開催について 6、事業報告書作成について 7、委員会活動報告 8、職員面談について
5月11日(月) 第2回	1、新型コロナウイルスについて 2、人事について 3、決算関連スケジュール確認
6月1日(月) 第3回	1、新型コロナウイルスについて 2、人事について 3、事故報告書書式変更 4、本部デッキ張り替え、塗装について
7月6日(月) 第4回	1、新型コロナウイルスについて 2、人事について 3、内部研修について 4、業務の棚卸、IT化について 5、浜名高校購買部について 6、20周年に向けて 7、コロナ禍での今後の行事について 8、事故報告書の運用について
8月3日(月) 第5回	1、新型コロナウイルスについて 2、人事について 3、学習支援協力について 4、内部研修について 5、事故報告書の運用について

9月7日(月) 第6回	1、新型コロナウイルスについて 2、人事について 3、PC増台検討 4、永年表彰準備 5、人事について 6、組織再編について
10月7日(月) 第7回	1、新型コロナウイルスについて 2、人事について 3、組織再編について 4、内部通報システムの運用について 5、事故報告書の運用について 6、理事会、監事監査等スケジュール確認 7、内部研修について
11月2日(月) 第8回	1、新型コロナウイルスについて 2、人事について 3、業務棚卸実施について 4、IT化について 5、法人全体会議の開催について 6、内部研修について 7、育成会成人式の対応について
12月7日(月) 第9回	1、新型コロナウイルスについて 2、人事について 3、業務棚卸実施について 4、IT化について 5、内部研修について 6、ライム輪転機の取り扱いについて
1月6日(水) 第10回	1、新型コロナウイルスについて 2、人事について 3、20周年に向けて 4、外部研修受講者選定
2月1日(月) 第11回	1、新型コロナウイルスについて 2、人事について 3、次年度委員会活動について 4、事業計画書作成について 5、年度末スケジュール確認 6、20周年に向けて 7、内部通報システムの一部変更について
3月1日(月) 第12回	1、新型コロナウイルスについて 2、人事について 3、報酬改定情報共有 4、次年度処遇、処遇改善手当の決定

4 運営会議

日時・回	内容
4~6月	新型コロナ感染予防にて、開催せず
7月22日(水) 第1回	1、月次報告 2、委員会報告 3、新型コロナ状況確認 4、浜名高校購買部での販売について
8月26日(水) 第2回	1、月次報告 2、委員会報告 3、新型コロナ状況確認 4、内部研修グループワークについて 5、卒業後の進路を考える会について
9月23日(水) 第3回	1、月次報告 2、委員会報告 3、新型コロナ状況確認 4、浜名高校購買部での販売について 5、次年度以降の各所おまつりにについて
10月28日(水) 第4回	1、月次報告 2、委員会報告 3、新型コロナ状況確認 4、次年度以降の各所おまつりにについて
11月25日(水) 第5回 (リモート開催)	1、月次報告 2、委員会報告 3、新型コロナ状況確認 4、DXについて 5、次年度以降の各所おまつりにについて 6、書類の廃棄処分について 7、エリア自立支援連絡会報告
12月23日(水) 第6回 (リモート開催)	1、月次報告 2、委員会報告 3、新型コロナ状況確認 4、法人設立20周年に向けて 5、各所おまつりにについて 6、もやもやの共有(フリーディスカッション)
1月27日(水)	1、月次報告 2、委員会報告 3、新型コロナ状況確認

第7回 (リモート開催)	4、個人貸与PCの取り扱いについて 5、次年度委員会活動の在り方検討
2月24日(水) 第8回 (リモート開催)	1、月次報告 2、委員会報告 3、書類の廃棄処分について 4、ZOOMライセンスについて 5、スマートフォン増台について 6、次年度委員会活動、育成会役員について 7、エリア自立支援連絡会報告
3月24日(水) 第9回 (リモート開催)	1、月次報告 2、委員会報告 3、次年度運営会議の運営とあり方について

6 法人全体会議

日時・回	内容
6月	新型コロナ感染予防対策の一環で中止、資料配布のみ(事業報告書等)
12月15日(火) 第1回 (リモート開催)	1、交通安全講習 2、理事会報告 3、IT化(個人PC貸与、NAS導入説明、今後の見通し共有)
3月24日(水) 第2回 (リモート開催)	1、理事会報告 2、内部通報システム「ほっとライン」運用変更説明 3、各協定書労働者代表選出 4、設立20周年キャッチコピーについて

XII 委員会活動

委員会	実施日	内容・実績
防災	5/12、6/9、7/14、8/11、9/8、10/13、 11/10、12/8、1/12、2/9、3/9	・避難、緊急時伝言ダイヤル訓練実施、管理 ・防災備品の確認、管理
コンプライアンス	5/18、6/22、7/20、8/18、9/28、10/19、 11/16、12/17、1/18、2/15、3/15	・ほっとラインの運営 ・事故報告とヒヤリハットの新書式導入
研修	5/12、6/2、7/7、8/4、9/1、10/29、11/4、 12/1、1/8、2/2、3/15	研修の企画・準備
	2/6	職員全体研修
	9、10、11、12、1月の計5回	階層別グループワーク
広報	5/21、6/18、7/16、8/20、9/24、10/15、 11/19、12/17、1/21、2/18、3/18	・みどりの樹つうしん編集・発行業務 ・ホームページ更新管理 ・法人全体パンフレット起案、着手
製品品質向上	5/8、6/12、7/10、8/21、9/11、10/9、 11/13、12/18、1/19、2/3、2/12、3/5	・製品パンフレット検討・作成途中 ・浜名高校購買部対応検討、アンケート作成 ・ラスク新商品開発

XIII 監事監査実施状況

監査内容	実施日	監査内容、担当監事
令和1年度決算監査	令和 2年5月21日 (指摘事項なし)	会計監査 : 山崎陽司 業務監査 : 遠山秀敏
令和2年度定期監査	令和 2年10月20日 (指摘事項なし)	事業計画進捗、感染予防対策 業務監査 : 山崎陽司

XIV 地域における公益的取り組み

事業計画では例年通り「照個屋」を催し、地域の方々の交流の場、お子さんから高齢の方まで多様な方に楽しんでいただく企画を予定しておりました。

ただ、当年度については、新型コロナウイルスの感染蔓延により、多くの方が集う場面の提案が難しく、予定通りの開催を断念せざるを得ませんでした。また、代替的な取り組みも行うことはできませんでした。

次年度は、法人設立20周年の節目の年でもありますので、感染対策との同時進行にはなりますが、これまで以上に地域の皆さんに還元できる取り組みを実現していきたいと考えています。

XV 苦情・ヒヤリハット・事故状況

1 苦情受付と結果

6月8日	自動車運転について(地域の方より)	6月8日 解決済	ループ歩(まっぼっくり)
------	-------------------	----------	--------------

2 ヒヤリハット報告

レベル0	間違った事が実施される前に気づいた	37
レベル1	間違った事が実施されたが、利用者棟には変化がなかった	409
レベル2	利用者等に変化が生じ、一時的な観察が必要となったが、治療・対処の必要がなかった	95
合計		541

3 事故報告

レベル3a	事故のため一時的な治療・対処が必要となった	18
レベル3b	事故のため継続的な治療・対処が必要になった	6
レベル4a	事故により長期にわたり治療・対処が続く	0
レベル4b	事故による障害が永続的に残った	0
合計		24

● 多機能事業所ループ

I 総括

各事業とも、ご本人の望む今後について共に考え、就職等ステップアップや、訓練終了後の進路先の検討を丁寧に行い、次につなげることができました。また、力を発揮して安定してはたらくことができるよう、作業の提供の仕方を工夫しました。反面、新型コロナウイルスの流行の影響により、新規利用者の獲得は伸び悩みました。生産活動においても新型コロナウイルスの影響を受け、喫茶事業・下請事業では売上目標に届きませんでした。併当事業では売上目標を超える結果を残すことができ、B型では昨年度を上回る工賃実績を残すことができました。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

就労移行支援

常に定員を割っている状況で、利用者が0になった月が3か月間ありましたが、特化プログラム SSP の実施や企業見学、実習を経て、1名の利用者が一般就職に結びつきました。また、既就職者のフォローアップでは、定期的にまた迅速に対応することで、ご本人、企業との関係を大切にしました。一方で、平成29年に入社し、約4年間務めた方の離職支援に携わるケースもありました。それぞれの新たなスタートが切りだされた1年になりました。

就労継続支援B型（ライム）

1名の利用者が一般就職に結びつきました。利用者の”やりたい”や”がんばりたい”を引き出すため、皆勤手当の継続や新たな仕事の切り出し、機会の提供を行いました。利用者が新しい仕事に挑戦したり、より多くの場面でかかわることができるよう作業工程を工夫しました。生産活動において、下請け作業では、昨年度同様の作業を継続していただくことができました。また、一部の作業は現利用者の状況に合わせて調整し、取引を終了しました。併当事業では、仕出しやイベントへの出店件数は減少しましたが、市内の幼稚園や地域包括支援センターなどからの問い合わせが増加したことで、新規の顧客獲得につながりました。また高校の購買においても、販売メニューの改良を行いました。

就労継続支援B型（なないろカフェ）

コロナ禍での浜松市からの休業要請に応じ、一定期間テイクアウトのみの営業を行いました。それに伴い、作業内容を考え直すことを通して、得意なところや苦手なところの再発見にもなり、支援の方法を考える良い機会となりました。SNSを利用した情報発信については、更新頻度が少なかったため、次年度は更新回数を増やしていきます。コロナ禍の影響により、地域交流の場としての活用は思うようにできませんでしたが、地域活動支援センターの活動拠点としてなないろカフェを使う回数を増やしました。

自立訓練（生活訓練）（みかん）

個別支援に力を入れていくために、個々との対話を大事にしてきました。個別のプログラム提供は十分に行

えませんでした。一人一人の個性やニーズに合わせ、利用者が主体的に取り組めることを心がけたはたらきかけを行いました。利用者数が少ない1年でしたが、ある面では、一人一人に向き合う支援ができたといえます。2名の訓練終了者がありましたが、相談支援専門員と密に連携ができ、協力して時間をかけた進路先の検討ができたのではないかと考えます。

III 行事、防災訓練実施等

4月	なし
5月	なし
6月	防災訓練(地震想定…避難訓練、防災グッズの確認)
7月	プチイベント(七夕)、ループ合同室内レク
8月	大掃除、そうめんとお楽しみデザートを食べよう
9月	スタミナパーティー、ふれあいスポーツ・レクリエーション大会
10月	体育館で遊ぼう、プチイベント(ハロウィン)
11月	294草刈り隊、鍋パーティー
12月	防災訓練(地震想定…避難訓練、防災クイズ、非常食を作って食べよう)、クリスマス会
1月	初詣&書初め、おはぎを作ろう
2月	プチイベント(節分)
3月	なし

IV 生産活動

1 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
弁当事業	17,043,454	16,800,000 円	101.4%
喫茶事業	4,386,755	5,200,000 円	84.4%
ライム下請事業	4,201,061	5,000,000 円	84.0%
合計	25,807,448	27,000,000 円	95.6%

2 工賃支払実績

	就労継続支援 B 型		就労移行支援		自立訓練 (生活訓練)	
	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額
1 年度	7,493,216	22,775	713,080	21,608	262,378	2,704
2 年度	7,572,141	24,038	473,846	24,939	203,473	3,281

時給設定 ① 320 円 ② 270 円 ③ 170 円

ボーナス 夏季 5,000 円～3,000 円 冬季 10,000 円～5,000 円 決算 20,000 円～10,000 円

※作業従事率により金額決定

業務手当 調理場手当 1日 200 円（調理場担当者、弁当箱洗い当番、集計係に支給）

皆勤手当 ①2,000 円/月 ②1,000 円/月

V 利用者状況

事業	稼働日	就労移行			就労継続支援 B 型			自立訓練（生活訓練）		
		延利用者数（人）	1日平均利用者数（人）	稼働率 ※定員比	延利用者数（人）	1日平均利用者数（人）	稼働率 ※定員比	延利用者数（人）	1日平均利用者数（人）	稼働率 ※定員比
4月	22	108	4.9	81.8%	421	19.1	95.7%	124	5.6	56.4%
5月	20	72	3.6	60.0%	369	18.5	92.3%	105	5.3	52.5%
6月	22	65	3.0	49.2%	475	21.6	108.0%	132	6.0	60.0%
7月	23	40	1.7	28.9%	482	21.0	104.8%	127	5.5	55.2%
8月	20	19	1.0	15.8%	417	20.9	104.3%	120	6.0	60.0%
9月	22	19	0.9	14.4%	476	21.6	108.2%	117	5.3	53.2%
10月	23	20	0.9	14.5%	529	23.0	115.0%	107	4.7	46.5%
11月	22	0	0	0%	440	20.0	100.0%	85	3.9	38.6%
12月	23	0	0	0%	464	20.2	100.9%	85	3.7	37.0%
1月	20	0	0	0%	393	19.7	98.3%	77	3.9	38.5%
2月	20	11	0.6	9.2%	401	20.1	100.0%	58	2.9	29.0%
3月	22	15	0.7	11.4%	414	18.8	94.1%	59	2.7	26.8%
合計	259	369	1.4	23.7%	5233	20.2	101.0%	1196	4.6	46.2%

● 生活介護事業所ループ歩

I 総括

さつきは、令和1年度10月にループ歩の就労継続支援 B 型と生活介護に合わせて10名が本人や家族の希望で移されましたが、特別支援学校の実習生や新規利用希望者の受け入れを積極的に行ったこともありま

すが、令和2年度中に登録者数が5名増え、地域の生活介護のニーズの高さを再認識しました。

まつぼっくりでは、コロナ禍の影響で、様々なイベントが中止となり我慢の一年となりましたが、みなさん健康に過ごすことができました。パンや焼菓子の売上アップはできませんでしたが、浜名高校の購買を始めるという新たな取り組みをすることができました。またコロナ禍にあっても楽しめる活動を職員が工夫して提供する一年となりました。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

さつき

保護者との連絡ノートや自宅送迎時の時間を活用して密に連絡を取り合うことで、日々の利用者支援に生かすことができました。また、職員定例会議内での議論を活発に行い、均質化した支援をこころがけました。事故を未然に防ぐための環境整備や声かけ等に取り組みましたが、環境整備不備が原因で発生した事故もあったため、今後改善していきたいと思えます。

作業については、取り組む時間が少しでも伸ばせるように、利用者の意志を確認しながら作業が行える環境を提供し、新規の作業の導入し利用者の可能性を広げる試みを行いました。

レクリエーションの時間は、季節の行事に合わせた創作活動や例年通りボーリングや輪投げを行ったり、毎週金曜日には音楽レクリエーションで利用者の好きな曲を流したり職員がピアノで演奏する機会もあり、利用者の楽しめる時間となっています。また、週に2回散歩に出ることにより地域の方々と触れ合う機会を設け、利用者の日々の運動不足解消や気分転換にも繋げています。

まつぼっくり

パンの売り上げアップを目指していましたがコロナ禍によるイベント中止が続き売り上げは落ちてしまいました。しかし10月より浜名高校の購買の販売を始めることになり、これに力を入れることにより前年度の売り上げを維持できるようになってきました。

余暇活動に関しては、外に出にくくなったこともあり、まつぼっくりの中で楽しめることを考え、調理実習、創作活動に力を入れて取り組むことができました。また職員の手話技術向上のために聴覚障害のあるパート職員とのコミュニケーションをとる時間を作りました。日々、職員同士が利用者の情報共有に努め、統一した支援を行うことができました。

III 行事、防災訓練実施等

4月	保護者会(さ・ま)
5月	なし

6月	廃品回収&パン安売りデー（ま）
7月	なないろカフェでランチ（ま）カラオケ（さ） 外出（ガーデンパーク・弁天島）（さ） 調理実習&カラオケ（ま） 避難訓練（さ）
8月	大掃除・お疲れ様会（ま） 映画鑑賞会（ま） 夏祭り（さ・ま） DVD鑑賞（さ） カラオケ（さ）
9月	浜北森林公園散策（ま） 廃品回収&パン安売りデー（ま） DVD鑑賞（さ）
10月	ハロウィンパーティー（ま） 運動会（さ）
11月	健康診断（ま） 宿泊避難訓練（ま） 春野ふれあい公園散策（ま） カラオケ&テイクアウト（ま） 鉄板焼き大会（さ）
12月	映画鑑賞会（ま） 廃品回収&パン安売りデー（ま） 避難訓練・引き渡し訓練（さ） クリスマス会（さ・ま） 大掃除・お疲れさま会（ま）
1月	書初め（ま） カラオケ&焼き芋 水難避難訓練（ま） 染物ワークショップ（ま） 外出（浜北大橋下・ガーデンパーク）（さ）
2月	節分（ま） 歯科検診（ま） チョコレート作り（ま） 好きなパン作り（ま）
3月	ひな祭り（ま） なないろカフェでランチ&公園散策（ま） 表彰大会（ま） 廃品回収&パン安売りデー（ま）

IV 生産活動

1 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
さつき（下請）	1,171,883 円	1,550,000 円	75.6%
さつき（おからクッキー）	1,049,023 円	1,300,000 円	80.6%
まつぼっくり（パン・クッキー）	5,529,832 円	6,640,000 円	83.2%
まつぼっくり（その他）	6,980 円	10,000 円	69.8%
合計	7,757,718 円	9,500,000 円	81.6%

2 工賃支払実績

	さつき		まつぼっくり	
	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額
1年度	1,060,600 円	3,982 円	1,984,278 円	16,228 円
2年度	1,104,835 円	4,446 円	2,209,747 円	16,737 円

V 利用者状況

事業 月別	稼働日	さつき			まつぼっくり			ループ歩 計		
		延利用者数	1日平均	稼働率	延利用者数	1日平均	稼働率	延利用者数	1日平均	稼働率
4月	22	367	16.7	92.7%	226	10.3	85.6%	593	26.9	96.7%
5月	21	304	14.5	80.4%	201	11.2	93.1%	505	24.0	80.0%
6月	22	375	17.0	94.7%	254	11.5	96.2%	629	28.5	95.0%
7月	23	385	16.7	93.0%	247	10.7	89.5%	632	27.4	91.3%
8月	19	311	16.4	90.9%	211	11.1	92.5%	522	27.4	91.3%
9月	22	364	16.5	91.9%	249	11.3	94.3%	613	27.8	92.7%
10月	23	393	17.1	94.9%	257	11.2	93.1%	650	28.2	94.0%
11月	22	359	16.3	90.7%	245	11.1	92.8%	604	27.4	91.3%
12月	22	362	16.5	91.4%	234	10.6	88.6%	596	27.0	90.0%
1月	21	355	16.9	93.9%	224	10.7	88.9%	579	27.5	91.7%
2月	20	345	17.3	95.8%	202	10.1	84.2%	547	27.3	91.0%
3月	22	389	17.7	98.2%	235	10.7	89.0%	624	28.3	94.3%
合計	259	4309	16.6	%	2785	10.7	%	7094	27.3	91.0%

● 多機能事業所ループ奏

I 総括

2年目に入り、新しいメンバーも増え活気にあふれた1年になりました。また人数が増えたことにより、集団活動と個別支援のバランスの難しさ、生活介護と就労継続B型の事業目的・特徴を踏まえた上での棲み分けの必要性と、同時に事業所として一体的に活動に取り組んでいく可能性を整理していく中で、見えてきた課題もいくつかあり解決に向けて職員一同で議論を重ね取り組んでいきました。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

生活介護（るるる）

1日のタイムスケジュールを見直し、曜日ごとに内容を決めてレクリエーションを行うようにしました。特に「みんなでいっしょに」にとらわれすぎていた反省を生かし、利用者それぞれの興味や特徴をふまえて活動内容を考え、「個々の楽しみ方」で過ごすことができる時間を増やしました。

また、利用者一人一人にあった作業の提供をすることにより作業に取り組む時間も増やしました。

就労継続支援 B 型（ららら）

コロナ禍の影響もあって、6月あたりまでは生産量が減少したり天竜高校が休校になったりと生産活動について、年度当初は苦戦をしました。7月以降盛り返し、下請け作業の種類も増やすこともでき、利用者一人一人にあった作業の提供をすることができるようになり、それぞれがこれまで以上にやりがいをもって取り組んでいけるようになりました。

また、活動にメリハリをつけるため週に1回ストレッチの時間を設け、体を動かすことにより気持ちのリフレッシュと健康維持も意識しました。

III 行事、防災訓練実施等

4月	調理体験 外出レク
5月	なし
6月	地震防災訓練
7月	なし
8月	カラオケ・ゲーム会
9月	大掃除・暑気払い 奏夏祭り
10月	制作活動（ハロウィーン） 外出レク
11月	奏1周年記念式典
12月	お楽しみ会 昼食作り
1月	奏クリスマスパーティー 大掃除・お疲れ様会
2月	初詣
3月	水害避難訓練

IV 生産活動

1 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
下請け	893,872 円	1,450,000 円	61.6%
天竜高校	3,102,016 円	4,050,000 円	76.6%
合計	3,995,888 円	5,500,000 円	72.7%

2 工賃支払実績

	ららら		るるる	
	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額
1年度	317,270円	10,916円	139,489円	2,224円
2年度	1,097,837円	8,409円	142,275円	1,285円

V 利用者状況

事業	稼働日	ららら (定員 10)			るるる (定員 10)			ループ奏 計 (定員 20)		
		延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比	延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比	延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比
4月	22	179	8.1	81.4%	193	8.8	87.7%	372	16.9	84.5%
5月	21	160	7.6	76.2%	160	7.6	76.2%	320	15.2	76.0%
6月	22	185	8.4	84.1%	198	9.0	90.0%	383	17.4	87.0%
7月	23	183	8.0	79.6%	202	8.8	87.8%	385	16.7	84.0%
8月	20	163	8.2	81.5%	166	8.3	83.0%	329	16.5	82.5%
9月	22	177	8.0	80.5%	187	8.5	85.0%	354	16.1	82.5%
10月	23	180	7.8	86.1%	198	8.6	86.1%	378	16.4	82.0%
11月	22	169	7.7	84.5%	186	8.5	84.5%	355	16.1	81.0%
12月	21	156	7.4	81.0%	170	8.1	81.0%	326	15.5	77.5%
1月	21	145	6.9	84.3%	177	8.4	84.3%	322	15.3	76.5%
2月	20	158	7.9	84.0%	168	8.4	84.0%	326	16.3	81.5%
3月	22	191	8.7	89.1%	196	8.9	89.1%	387	17.6	88.0%
合計	259	2,046	7.8	78.0%	2,201	8.5	85.0%	4,247	16.3	81.5%

● 放課後等ディサービス あざみ

I 総括

新型コロナウイルスの影響で休校が続く中、通常通りの開所をし続けることができました。支援者の確保が難しい中、保護者の協力も得ながら、怪我や事故等なく子どもたちをお預かりすることができました。感染予防の面での難しさがあり、子どもたちの障がい特性によってマスク着用が難しい子が多くを占めています。まず

は予防することに努め、職員、利用者ともに健康観察票の記入、検温、消毒など継続して行っています。

また、昨年度の出来事は、放課後等デイサービスの存在意義について気づかせていただける機会でもありました。子どもにとっての学校、家庭以外の人との繋がりを感じ安心して過ごせる場所、保護者にとっても安心して頼れる場所として、今後もそのような存在であり続けたいと思います。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

新型コロナの感染予防のため、以前のような活動を行えない中、子どもたちが楽しめるような活動を考え、感染予防対策を徹底し、実行してきました。長期休みには、駄菓子屋での買い物体験を行うことができました。また、室内でも楽しめるイベントとして、機械で作ったポップコーンを食べながら友だちと一緒に映画鑑賞をして、映画館の気分を味わうなどの企画も行いました。

保護者や法人全体の合同のイベントが軒並み中止になったので、小規模ながら、子どもたちだけの夏祭りやクリスマス会を行いました。

支援においては、小グループでの外出（散歩）を設定し、事業所以外の場所で活動することによって、地域の人や環境に触れることで気分転換になり、子どもの気持ちの安定を図り、感覚過敏の子に対する環境設定にもなりました。グループでの活動が難しい子には、個別で行える工作や静かに落ち着いて過ごせる個室を提供し、配慮しました。またひとりひとりの「やってみたい」という気持ちを大切に、満足感、肯定感が得られるよう、子どもに寄り添った遊びを提供するよう努めました。

子ども同士の関わりの中でトラブルに発展してしまうことが多々ありますが、良し悪しの判断や相手の気持ちや考えに気づける大切な場面と捉え、子どもの気持ちを汲みながら本人が折り合いをつけていけるよう、共感、仲介、話し合う状況作りなどの支援を行いました。それぞれの成長とともにお友だちと楽しく過ごせる時間が増えてきています。

基本的生活習慣の習得について、新一年生が4名入り低学年の子どもが増えたため、特に排泄、食事の面での支援を個々の発達に合わせて行いました。

III 行事、防災訓練実施等

	行事	創作
4月	始まりの会	壁面飾り さくら
5月	こどもの日	こいのぼり 母の日プレゼント
6月	なし	壁面飾り あじさい
7月	たなばたまつり	七夕飾り
8月	買い物・外出体験（お菓子屋じろう 宮口駄菓子屋さん）	
9月	なし	
10月	ハロウィン	ハロウィン衣装 お面

11月	地活合同誕生会	壁面飾り もみじ
12月	クリスマス会 焼き芋（地活合同）	クリスマス飾り
1月	地活合同誕生会	壁面飾り 鬼
2月	豆まき	ひな祭り顔はめパネル ひな人形
3月	ひな祭り 卒業生を送る会 頑張りましたの会	壁面飾り さくら
毎月	誕生会 避難訓練	

IV 利用者状況

1 月別利用者数（定員 10 名 登録者 16 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	26	26	26	27	23	26	27	25	24	23	23	27	303
延利用者数(実績)	289	264	293	273	250	290	280	261	279	255	263	309	3306
1日平均利用者数	11.1	10.2	11.3	10.1	10.9	11.2	10.4	10.4	11.6	11.1	11.4	11.4	10.7
稼働率(%)	111.2	101.5	112.7	101.1	108.7	111.5	103.7	104.4	116.3	110.9	114.3	114.4	107.1

2 曜日別利用者数

曜日	月	火	水	木	金	土・祝日	合計
年間日数(日)	46	47	50	48	49	63	303
年間利用者延人(人)	506	517	655	587	553	488	3306
平均利用者数(人)	11.0	11.0	13.1	12.2	11.3	7.7	10.9

3 学年別利用者数

学年	浜北特別支援学校	市立特別支援学級
小学1年～3年	3名	0名
小学4年～6年	2名	1名
中学生	3名	0名
高校生	7名	0名

● 日中一時支援事業 あるば

I 総括

併設の放課後等デイサービスあざみと一体的に活動を行いました。

他の放課後等デイサービス事業所を利用し、月数回の利用の方はあるばの環境に慣れていないため、個別の見守りや環境設定などを行い、ひとりひとりの安定・安心に配慮しました。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

利用回数の少ない方は普段の様子が見えづらいため難しさがありますが、ベースとして基本的な生活習慣の習得のための支援（トイレ、食事、手洗い、衣類着脱など）や安心できる環境設定の中での遊びの支援、他者とのコミュニケーションの取り方、楽しさを体験できるように支援しました。

感覚の過敏さや子ども同士のトラブルから不穏になってしまうため、事前に夢中になれる活動を提供する、安心できる場所、人を提供するなどの配慮に努めました。問題行動を行動としてだけでなく、子どもの背景に視点を置いて考えるようにも心掛けました。ひとりひとりの「やってみたい」という気持ちを大切に、難しいことは子どもと話し合い、折り合いをつけながらこちらもかわりの遊びを提供したり、後日準備をして提供したり、子どもにとって楽しい場所であることを意識し、気持ちに寄り添いました。

III 行事、防災訓練実施等

行事や防災訓練の実施は、放課後等デイサービスあざみと一体的に行っているため、あざみ参照。

IV 利用者状況

1 月別利用者数 (定員7名 登録者数18名)

(定員7)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	26	26	25	27	24	25	26	26	24	23	24	26	303
延利用者数	71	72	131	134	89	129	147	118	133	106	126	137	1393
1日平均	2.7	2.8	5.0	5.0	3.9	5.0	5.4	4.7	5.5	4.6	5.5	5.1	4.6
稼働率(%)	38.6	40.0	71.4	71.4	55.7	71.4	77.1	67.1	78.6	65.7	78.6	72.9	65.7

2 サービス併用状況

あるばのみ利用	6名	週3日 固定した曜日に利用
あざみ・あるばを併用	3名	あざみを主に利用 支給日数を超えた日にあるばを利用
あざみ・あるば・他の放デイ利用	2名	あざみ月～土 毎週日曜日に他の放デイを利用
他の放デイ事業所を主に利用	7名	他の事業所が利用できない日に利用(土、祝日)

● はまきた地域活動支援センター

I 総括

コロナ禍により、一部プログラムの中止や密を避けるために全プログラムを予約制としたため、例年に比べ利用人数が減少しました。一方で、予約制にしたことによりニーズの高いプログラムとそうでないプログラムが明らかになり、月々のプログラム提供もコロナ禍の中でも工夫して組んでいくことにもつながりました。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

利用される方々の「やってみたい」という声を聞き、活動に取り入れたものの定例となる活動が少ないのが現状です。その中でも特に音楽活動については、興味のある方々が定例的に参加され、バンドを結成する動きが見られるなど、自主的な活動の横支えの機能も果たせていると思います。

コロナ禍ということもありボランティアの協力依頼を積極的に行うことはできませんでしたが、感染予防対策にも最大限留意しながら1年間継続してきてくださるボランティアの方々も多くいました。

III 行事、防災訓練実施等

創作活動	社会との交流促進	日常生活に必要な便宜を供与することに関する業務	医療福祉及び地域の社会基盤の連携強化のための調整	地域ボランティア育成関係	障がいに対する理解促進を図るための普及啓発等の事業関係
音楽の日 カレンダー 作り等	ミーティング いっぶく 卓球 ゲーム会 朗読カフェ カラオケ 等	昼下がりのいっぶく パソコン教室 つぶやきカフェ 身体を動かす日 等	相談支援事業所 タイアップで青春倶楽部(外出・カラオケ等) あざみの子供たちと 誕生会 等	朗読カフェ 昼下がりのいっぶく パソコン教室 ちくちくクラブ	大学・看護学校 レクチャー
外出 イベント等	4月 お食事会 6月 お楽しみ会 7月 七夕飾りづくり かき氷を食べよう 8月 かき氷を食べよう 9月 かき氷を食べよう		11月 カレンダー作り 12月 忘年会 1月 初詣&新年会 2月 みかんと合同レク 3月 ひなまつり会		

IV 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
浜松市	221	95	198	139	140	133	150	130	128	123	136	146
磐田市	17	11	10	5	3	6	6	6	0	0	2	3
合計	238	106	208	144	143	139	156	136	128	123	136	149
1日平均	11.9	7.0	11.5	6.8	7.1	6.6	6.7	6.8	6.4	6.8	7.1	6.7

● 特定相談支援事業所 ぼるた

I 総括

令和2年度はコロナ禍の影響で年度前半は施設見学や体験利用などの受け入れがなされず支援が滞ってしまうこともありました。そのような状況の中でも新規計画については21件あり順調に数を伸ばすことができました。特に就労継続支援A型(昨年度比2倍)、就労移行支援(3倍)の計画作成が目立ちました。相談員の増員によるマンパワー増とPC等の増強による効率アップも新規獲得の要因であったと考えます。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

相談員ひとり1台ずつノートPCの導入ができたことで、計画相談専用ソフトがPCごとに使えるようになりPCの空き待ちがなくなる、メールのやり取りがスムーズになるなど作業の効率化が実現できました。また、NASの導入により、ファイル共有やスケジュール把握が容易になるなどの効果が見られました。

計画の更新時に再アセスメントを行うよう職員間でも共有を行いました。生活状況の変化が少ないご利用者については、様子の確認にとどまることもありましたが、変化の大きい利用者については聞き取り、計画への反映など行えました。

他機関との連携においては、新型コロナウイルスの影響は強く、会議や情報交換会などの対面で行われていたものは軒並み中止となり、新規での関係や顔の見える関係の構築はあまりできませんでした。しかし、Zoomの活用により今までにない会議形態が導入され、発展の可能性も見いだせました。

III 利用状況

1 実施人数と計画内容

実人数114人 (※参考 令和1年度実績：100人、30年度実績：99人、29年度実績：90人)

利用事業	就労継続支援A型	就労継続支援B型	就労移行支援	就労定着支援	自立訓練	生活介護	施設入所支援	短期入所	居宅介護	グループホーム	利用契約のみ	合計
R2年度	24	42	10	2	3	27	2	39	39	4	0	161
R1年度	12	34	3	0	4	20	1	36	24	2	0	141

※実施人数と計画内容の合計数に相違があるのは、1人の方が複数のサービス利用をするケースがあるため

2 月別件数集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規計画数	1	3	1	0	0	0	4	1	3	1	5	2	21
モニタリング数	18	20	30	23	22	19	22	17	38	24	28	35	296
更新	10	3	7	9	9	7	8	6	8	9	10	5	91

事業報告書の付属明細書

- ・記載事項なし